

入学者の受入れに関する方針【アドミッション・ポリシー】

共同教科開発学専攻は、愛知教育大学と静岡大学が共同して教育課程を構成している後期3年だけの博士課程です。本共同専攻では、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑化、多様化した諸課題に対応した教育及び研究を行っています。

【目指す教育】

本共同専攻は、教科開発学について高度で専門的な教育及び研究を行うことで、次のような能力を持つ者の育成を目指しています。

- ◎教育事象の因果関係を把握し、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸課題に対応した研究を自立して遂行できる能力
- ◎学術的及び専門的知見を教科内容として構成し、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力
- ◎学校教育の実践を理論化し、その理論を実践に活かす能力

【求める学生像】

本共同専攻では、大学院修士課程又は専門職学位課程や教育現場等で培った十分な学力、研究力、実践力に加え、新たな学問分野に挑戦する意欲を有し、博士の学位取得後、教科開発学の分野において自立して研究と実践を行い、大学教員をはじめとした研究者として、広く教育界に貢献する意志がある者を求めています。

【入学者選抜の基本方針】

入学者の選抜は、小論文試験、外国語(英語)筆記試験、口述試験の結果を総合して行います。

◎小論文試験

教育に関するテーマで、研究に必要な論述力を評価します。

◎外国語(英語)筆記試験

教育に関する英文で、研究に必要な英語力を評価します。

◎口述試験

これまでの研究内容と入学後の研究計画等を中心に行います。その際、出願書類を資料とします。